

余丁校通信



7月の生活目標

学校の物や自分の物を大切にしよう。

太陽と輝く汗の眩しさを

副校長 木田 那奈

早いもので、1学期もあと3週間となりました。

6月20日からの3日間の学校公開は、ご多用中、たくさんの方々にご来校いただきました。ありがとうございました。お子さんの学級での様子をご覧いただき、いかがだったでしょうか。学年の行事や普段の出来事など、HPでも紹介していますので、ぜひ、ご覧ください。

6月17日(月)は、体カテストの「ソフトボール投げ」を全校児童が行いました。待ちに待った新しい校庭での初めての体育です。やっと、体育の授業で当たり前前に校庭が使える日が来たのです。全面が使えなくなって半年。仕切られた場所での狭い校庭から10か月。皆がとてもしんどく感じました。

当たり前前が当たり前ではなくなることは、とても不便なことです。不便という言葉で片付けてはいけないかもしれませんが、当たり前ではなくなったとき、初めて当たり前前ありがたさを感じます。広い校庭が使えなくなった10か月間は、外遊びや体育の授業の制限、登下校時の門の変更など、いろいろな場面で支障がでました。体を思いっきり動かさなくて精神的にも辛かった人もいるでしょう。でも、新しくなった校庭は、とてもきれいで気持ちがいいです。今まで使えなかった分、たくさん体を動かして過ごしてほしいと思います。また、校庭の周りには、たくさんの樹木があります。新植樹木は全部で23種類です。四季折々の季節を感じることができることでしょうか。どんな樹木があるのか探してみるのもいいですね。

校庭の使用が可能になり、正門からの登校を7月2日から開始します。また、中休みや昼休みの校庭遊びも始まります。ルールを守って安全に過ごしてほしいと思います。詳しくは、生活指導部からのお知らせをご確認ください。

登下校について 生活指導部

7月2日(火)より児童の登下校は正門を使用します。登校時間は8:10~8:20で変更はありません。開門は8:00ですが、校舎内に入れるのは8:10です。待機場所が限られていますので、時間を考えて登校させてください。

研究について

研究担当

今年度の研究は「探究的」「協働的」に学ぶ児童を育成する体育の授業づくりを主題とし、児童の「やりたい」「なりたい」「いかしたい」を育てる体育(たい育)の研究に取り組んでいます。

体育科の目標は、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育成することです。得意や苦手ははっきりとでやすい教科ですが、どんなことがしたいのか、どんな自分になりたいのかを考える中で、一人一人に合った運動との付き合い方を見つけてほしいと考えています。また、友達からヒントをもらったり、友達に伝えたりする中で、自分の考えをさらに深めていってほしいです。

私たち教員も日々、子どもたちはどんなことをどのように学びたいのか、どんな子どもたちに育ててほしいかを考えながら授業改善をし、子どもたちに負けないくらい進化し続けられるよう、教員一同努力していきます。

給食試食会を終えて

栄養士

今年度も1年生の保護者の皆様を対象に、給食試食会を開催しました。平日のお忙しい中、27名の保護者の方々にご参加いただきました。ありがとうございました。

試食会当日は、普段なかなかお伝えできない日々の給食の工夫や給食室の内部について、栄養士からご説明しました。試食会後のアンケートでは、「いつも帰ってきたら給食の話をしている」「ホームページも楽しみに見ている」等のご意見をいただきました。アンケートの内容は、今後の給食運営に活用させていただきます。

今後も、給食室一同、保護者の皆様や地域の方々を支えていただきながら、安全でおいしい給食の提供ができるよう努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。